

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

大相撲郷土力士の活躍に

拍手を贈り応援棧敷

●宮古市 太田屋滋

独り居も夫婦二人も同居にも

老いてゆく身の不安あれこれ

●富谷市 岡崎ミチ子

久びさに窓越面会老いた母

もの言わぬ顔目が語りかけ

●富谷市 菅井初江

ウクライナ向日葵笑う穀倉地

戦禍無ければ鳩飛び回り

●朝霞市 林 則雄

シルバーの亡き友今も生きてると

夢に出でては吾を励ます

●印西市 山田 明

背後から朝の挨拶さわやかに

市民農園うれしい温もり

●狛江市 根方一吉

俳 句

空蟬をベンチに置いて子らの声

●小山市 原田利江

コスモスにふさはしき風生まれけり

●本庄市 長谷川千鶴子

満月や隣家の屋根へ登りけり

●草加市 長谷部禎子

秋風に乗り換えてみる八高線

●戸田市 篠崎志津子

秋の風サンマの煙どこもなし

●新座市 阿河孝雄

亡き母の星はいずこや星月夜

●東京都大田区 小池弘一

来て嬉し終って嬉し夏休み

●武蔵村山市 原野晴光

腕に蚊が叩くべしかや秋彼岸

●平塚市 田中博由

名月やまたも閨離る妻も起き

●長岡市 近藤 博

噴水をプール代りに子等遊ぶ

●塩尻市 大家協治

白昼の夢の膨らむ百日紅

●塩尻市 奥原光夫

紫陽花や山に根付いて元氣ます

●塩尻市 小野正平

黒揚羽風追い風の道よぎる

●塩尻市 町田まさ子

この酷暑凌ぎきれぬや今朝の報

●野洲市 若松能夫

我が村を覆いかくすや大花火

●綾部市 岩瀧憲一

山の日に久しく登る天王山

●長岡京市 宮先一雄

十六夜や月もマスクを掛けており

●門真市 藤岡春男